

經營体育成基盤整備事業

# 土地改良事業計画概要書

( 農業用排水施設 )

( 第 1 回 変更 )

県 区 名 岩 川 手  
地 在 名 角 市 原  
所 在 地 奥 手 江 刺  
事 業 主 体 岩 手 県

# 土地改良事業計画概要書

— 目 次 — (第1回変更)

第1章	目的	1
第2章	地域の所在及び現況	1
第1節	地域の所在	1
第2節	現況	2
第3節	水利状況	4
第4節	営農状況	4
第5節	地域環境の概況	5
第3章	基本計画	6
第1節	計画の要旨	6
第4章	工事又は管理の要領	7
第1節	工事の施工計画	7
第2節	管理の要領	7
第3節	予定工期	7
第5章	換地計画の要領	7
第6章	費用の概算	8
第7章	効用	9
第8章	他の事業との関係	9
第9章	計画概要図	9

## 第1章 目 的

上段:変更後  
下段:変更前

本地区は、奥州市江刺区の北東部に位置し、一級河川広瀬川左岸沿いに形成された丘陵部に散在する水田地帯である。

本地区の用水路は、田瀬ダム（多目的ダム）を取水源とする国営猿ヶ石東部幹線用水路から奥州市江刺区梁川で分水される支線用水路（角川原用水路）であるが、築後40年以上経過し、側壁や底部の破損、目地の剥落や掛樋の破損等が進行し、施設の用水機能が著しく低下し、安定的な用水確保が困難となっている。

このため、区画整理による農道、用排水路整備とともに支線用水路の施設更新を行い、高生産性ほ場の造成による営農の効率化及び用水の安定供給を図ると共に、担い手への農地集積を促進し、農業経営の安定を図るものである。

### 地 積

(単位：ha)

現況地目 市町村名	水 田	普通畑	樹園地	小計	山林原野	その他	合 計
奥州市	〃 46.8	〃 —	〃 —	〃 46.8	〃 —	〃 —	〃 46.8

## 第2章 地域の所在及び現況

### 第1節 地域の所在

〃  
岩手県奥州市江刺梁川、広瀬地内

第2節 現 況

上段:変更後  
下段:変更前

第1項 地形、地質及び土壌

本計画地域は、奥州市江刺区の北東部に位置し、一級河川広瀬川沿いにある標高500m前後の低山地に囲まれた地域である。地形は、河川に沿う東西方向に1/16程度の急な傾斜を形成しており、標高は105～178mである。

地質の母材は、非固結水成岩、土壌は強グライ土壌粘土斑鉄型（D33）、灰色土壌粘土構造型（F50）、灰褐色土壌強粘土構造型（G60）、黄褐色土壌強粘土型（181-2）である。

第2項 気 象

(1) 一般気象

(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

観測所名	江刺気象観測所	かんがい期	非かんがい期	計	備 考
観測期間	H15～H24年	5月～8月	9月～4月	又は平均	
平均気温 (°C)		20.4 °C	6.5 °C	11.2 °C	
降水量	平均 (mm)	500.1 mm	666.4 mm	1,166.5 mm	
	基準年 (mm)	— mm	— mm	— mm	
降水日数	平均 (日)	45 日	95 日	139 日	
	基準年 (日)	— 日	— 日	— 日	
根雪期間		— 月 — 日	— 月 — 日	— 日間	
無霜期間		4 月 30 日	10 月 24 日	178 日間	
最多風向		NW	最大風速 (風向)	15.2 m/s ( )	最多風向発生時期 月～月 最大風速発生年月日

(2) 特殊気象

〃  
(岩手県農林水産部農村計画課 計画樹立参考資料 平成26年3月版)

観測所名	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
〃 米里気象観測所																
〃 M42年～H24年																
最大日雨量 (mm) M42年～H24年	〃 184	〃 S23.9/16	〃 1/750	〃 139	〃 S43.8/11	〃 1/83	〃 135	〃 H2.11/4	〃 1/68	〃 130	〃 S62.8/17	〃 1/52	〃 115	〃 S23.10/5	〃 1/24	
最大時間雨量 (mm) S29年～H24年	〃 48.5	〃 H20.7/28.15	〃 1/70	〃 46	〃 H2.11/4.22	〃 1/52	〃 45	〃 S37.8/27.3	〃 1/46	〃 39	〃 S30.9/6.22	〃 1/21	〃 36	〃 H22.8/4.20	〃 1/14	
最大4時間雨量 (mm) S29年～H24年	〃 91	〃 H2.11/4.23	〃 1/152	〃 75	〃 H20.7/28.17	〃 1/38	〃 74.5	〃 H20.7/28.18	〃 1/36	〃 74.5	〃 H20.7/28.16	〃 1/36	〃 74	〃 S47.8/3.4	〃 1/34	
最大3日連続雨量 (mm) M42年～H24年	〃 251	〃 T9.8/10	〃 1/634	〃 217	〃 S23.10/6	〃 1/184	〃 210	〃 S23.10/5	〃 1/142	〃 209	〃 H10.8/31	〃 1/137	〃 194	〃 S23.9/16	〃 1/78	
最大連続旱天日数 (日) M42年～H24年	〃 41	〃 S59.7/17	〃 ・・・	〃 38	〃 S3.7/18	〃 ・・・	〃 37	〃 S18.6/30	〃 1/788	〃 31	〃 S39.7/20	〃 1/46	〃 29	〃 H11.7/26	〃 1/22	

第3節 水利状況

第1項 用水状況

本地区の用水源は田瀬ダムに依存し、国営猿ヶ石東部幹線水路により導水され、分土工にて各支線水路に分水されている。その後、用水は開水路（鉄筋コンクリートU字フリューム）により山地樹林内を流下し、受益地の水田まで導水されている。なお、開水路は用水断面での流下であり、山地斜面からの雨水等は水路に流入後、オーバーフロー等により水路外に排出され、沢や道路区間では掛樋や逆サイフォンにより水路には流入しない。

第2項 排水状況

本地区の排水は、すべて自然排水で行われ、地区内排水路を経て、一級河川広瀬川に流入する。地区内の排水路は、水路底が浅く、地表排水のみが排水可能であり、水田の汎用化が行えない状況である。また、大部分は土水路で、法面の崩落等による通水阻害も生じており、維持管理に多大な労力と経費を費やしている。

第4節 営農状況  
専業別農家数及び平均経営耕作面積

R2 農林業センサス  
H27 農林業センサス

戸数		項目	専業	第一種兼業	第二種兼業	計	一戸当たり平均経営耕地面積	田	普通畑	その他	計	地域指定等		
専業別	奥州市	戸数	-	-	-	-			1.64	0.18	〃	1.85	〃	〃
		割合	1,851 戸	807 戸	5,133 戸	7,791 戸	1.17 ha		0.13 ha	0.03 ha	1.33 ha	農業振興地域	S45年度	
	本地区	戸数	-	-	-	-	88.7		9.7	1.6	〃	〃	〃	〃
		割合	23.7 %	10.4 %	65.9 %	100 %	88.0 %		9.8 %	2.2 %	100 %	過疎地域	H12年度	
本地区	戸数	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃		
	割合	11 戸	6 戸	39 戸	56 戸	0.9 ha	ha	0.3 ha	1.2 ha	振興山村	S44年度			
		割合	19.6 %	10.7 %	69.7 %	100 %	75.0 %	%	25.0 %	100 %	都市計画	S48年度		

上段:変更後  
 下段:変更前  
 R2 農林業センサス  
 H27 農林業センサス

経営農用地広狭別農家数

区 分	農 家 総戸数	経営農用地広狭別農家数									耕地の分散状況		一戸当たり 平均耕地面積
		0.5ha 未満	0.5ha ～ 1.0ha	1.0ha ～ 1.5ha	1.5ha ～ 2.0ha	2.0ha ～ 3.0ha	3.0ha ～ 5.0ha	5.0ha 以上	自給的 農家	例外規程 の適用を 受けるもの	一戸当たり 団地数	団地当たり 面 積	
奥州市	8,200 10,189	- 1,037	- 2,272	- 1,543	- 1,028	- 1,003	- 534	- 374	2,127 2,398	// -	// -	a -	a 133

第5節 地域環境の概況

本地域は、丘陵地に豊かな田園風景を形成し、隣接する水路や山林などには手つかずの自然が残っている。また、地域内には、  
 「環境省レッドリスト」及び「いわてレッドデータブック」に登載されている希少種及び希少種の食餌動植物等生育・生息に不  
 可欠な種、良好な環境の指標となる種の生育・生息が確認されている。

地域ではそれらの生態系に配慮し、隣接する森林などの水源地の保全や、排水路の維持管理に取り組んでいる。

第1節 計画の要旨

〃  
 区画整理とともに支線用水路を更新し、農業用水の安定供給及び担い手への農地利用集積を促進することにより、営農の効率化と農業生産性の向上を図る。

〃  
 環境との調和への配慮として、近傍の類似環境地への移植や生育・生息に支障がないような最小限の整備に努めるなど、生態系に配慮した計画とする。

事業計画一覧表

種 別	事 業 量	摘 要
用排水施設	用水路工	パイプライン (塩ビ管) VU450~VU200、分水工 6 個所 パイプライン (塩ビ管) VU400~VU150、分水工 6 個所 3,910 m 3,368 m
	仮設工	〃 式 1



#### 第4章 工事又は管理の要領

上段:変更後  
下段:変更前

##### 第1節 工事の施工計画

1. 工事は、全て県営事業により行い、請負工事とする。
2. 施工は、農業土木工事共通仕様書による他、特記仕様書による。

##### 第2節 管理の要領

1. 用水路の管理は江刺猿ヶ石土地改良区が行う。

##### 第3節 予定工期

〃 令和9年度  
平成30年度～平成35年度

#### 第5章 換地計画の要領

〃  
該当なし

上段:変更後  
下段:変更前

第6章 費用の概算

単位:千円

事業名	総事業費		負担内訳				備考
	費目	金額	国費 (55.0%)	県費 (30.0%)	地元負担 (15.0%)		
					市町村 (10.0%)	農家 (5.0%)	
経営体育成基盤整備事業  (農業用排水施設)	事業費	262,000 183,000	144,100 100,650	78,600 54,900	26,200 18,300	13,100 9,150	
	費目	金額	国費 (0.0%)	県費 (100.0%)	地元負担 (0%)		
					市町村 (0.0%)	農家 (0.0%)	
	工事雑費						
	事務費						
	計	262,000 183,000	144,100 100,650	78,600 54,900	26,200 18,300	13,100 9,150	

第7章 効用

項目 区分	用排水施設整備（千円）				備 考
	便 益 額	所 得 額			
農業生産向上効果（作物効果）	7,641 8,390	5,909 4,349			
農業経営向上効果（営農経費）	87,540 74,289	89,743 76,038			
農業経営向上効果（維持管理）	△ 228 △ 193	1,425 1,055			
生産基盤保全効果（更新効果）	〃 —	〃 —			
生活環境整備効果 （非農用地等創設効果）	〃 —	〃 —			
農村の持続的発展に関する効果 （耕作放棄防止効果）	〃 —	〃 —			
農村の振興に関する効果 （地籍確定効果）	〃 —	〃 —			
国産農産物安定供給効果	4,174 2,685	〃 —			
合 計	99,127 85,171	97,077 81,442			総費用総便益比＝ 1.20 1.25

第8章 他の事業との関係

区分	事業名	事業主体	受益面積	工 期	事業費（百万円）	前年度までの 進 捗 率	事業との関連
異 種							

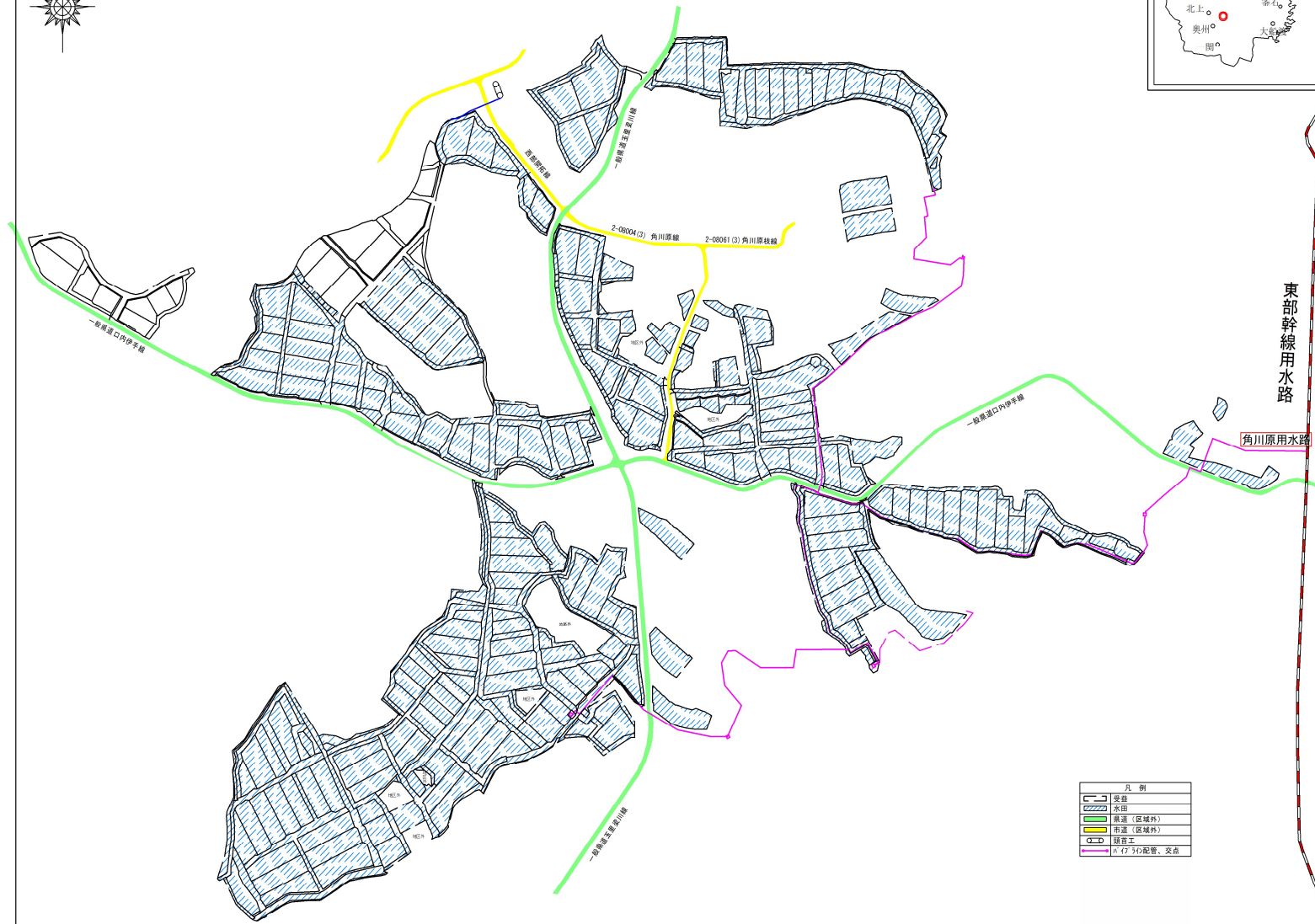
第9章 計画概要図

別 添

# 角川原地区 計画概要図

【農業用排水施設】

A=42.5ha



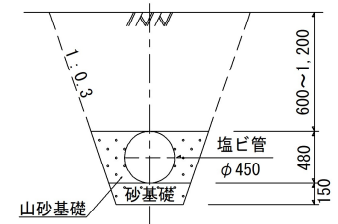
凡 例	
	田舎
	水田 (区域林)
	市道 (区域林)
	排水工
	排水工の配管、交点

東部幹線用水路

角川原用水路

## 管水路

VU450



## 管水路

VU200~300

